



# 学校だより

令和4年10月13日  
市川市立第六中学校  
校長 渋谷 敬二

## 【生徒会役員決定】

約10日間の選挙活動を行った上で、10月7日（金）に立会演説会、続いて投票を行いました。この間、立候補した一人ひとりが一生懸命に投票を呼び掛ける姿を見てきました。堂々と大きな声で訴える姿は大変立派でした。立会演説会は2年生だけが体育館、1、3年生は教室にライブ映像を映して演説を聞くこととしました。どの学年も真剣に話を聞いていたとのこと。それは一生懸命な立候補者に対する敬意の表われであったと思います。学校全体が真剣な気持ちで生徒会選挙を行うことができ、大変すばらしかったと感じています。

今回は一部競争選挙となりましたので、当選が叶わなかった人がいました。でも、立候補したこと自体が称賛に値する行動です。学校全体に良い影響を与えてくれたことを感謝するとともに、今後も積極的に活動してほしいと思います。当選した9名の皆さんには六中のリーダーとしての活躍を期待しています。9人で支えあって頑張りましょう。

新役員紹介			会長	2-3	くん
副会長	2-3	さん	書記	1-3	さん
	2-4	くん		1-5	さん
会計	2-6	さん	会計監査	2-2	さん
	1-1	さん		1-5	くん

## 【授業研究会】

10月12日（水）、この日の定例研は鬼高小学校、稲荷木小学校の先生方を六中に招いて、授業研究会を行いました。懐かしい先生方に出会った人たちもいたことでしょう。

先生方も授業の在り方について日々模索を繰り返しています。どのようにして生徒の興味関心を高めていけばよいか、どのような説明、どのような投げかけをするべきか、どのタイミングで行うべきか等々、授業にこれで完璧ということはありません。今回は小学校と中学校のつながりを大切にした授業の在り方を主なテーマとして授業の実施、その後の検討会などを開きました。教育委員会からも多くの先生方に参加していただき、意見交換をすることができました。

大人になっても学びは続きます。一日一日を大切に、学校の力を高めていきたいと思っています。

## 【ワールド学級弁論大会】

10月5日（水）と11日（火）、2回に分けてワールド学級で弁論大会を実施しました。他国の言葉



夏休みから取り組んできた成果を発表しました。

を習得するのは容易なことではありません。ワールド学級では日本語だけでなく、教科の勉強、習慣や文化の違いについても勉強しています。今回は4人の人たちが自分の考えや母国と日本の違い等について作文を書き、仲間や家族の前で発表をしました。難しい日本語や漢字もたくさん使って書かれた内容にびっくりするとともに堂々と発表している姿に感心させられました。今は苦労することも多いと思いますが、複数の国の文化や言葉を習得し、将来は幅広く活躍できる人に成長してほしいと思っています。

くんと くんは10月24日（月）の生徒集会の中で全校生徒に向けて発表をします。お楽しみに！

「ネパールと日本の食べ物のちがい」	1-2	くん	「友達」	2-3	くん
「中国の学校生活の紹介」	2-3	くん	「僕の夢」	2-4	くん